

～ 会報・臨時号①～

『記念事業動き始める』

<小森勇一会長>

4月の例会を休会として、コロナ感染症の拡大予防に努めているが、この間にも、創立50周年記念事業関係の対外的な折衝を進めている。

去る4月3日、午後2時30分より、高萩市役所に大部勝規市長を訪問、記念品の贈呈に関し、別紙のような要請と懇談をした。

市長室には、高萩市長、鈴木真人副市長、石井健壽総合福祉センター長が出迎えてくれた。

高萩ロータリークラブからは、鈴木啓志実行委員長代行、小森会長、田所和雄会長エレクトが出席した。

クラブからは、全世界で進めているポリオプラスの活動を説明し、大規模予防接種キャンペーンなどの意義を強調、広報する両面自立看板の寄贈構想を説明した。

大部市長は、時節柄、大変好意的に受け止めてくれて、市としてのよく検討し、高萩ロータリークラブの意向に応えたいと表明してくれた。会談は、年度初めの超多忙な時期でもあり、30分で市長室を辞した。

創立50周年記念事業記念品の贈呈について
(案)

1 記念事業の趣旨

2020年10月、高萩ロータリークラブが創立50周年を迎えるにあたり、記念事業として、高萩市に記念品を贈呈し、地域社会に貢献する活動を実行する。

2 記念品の目的

(1) 市民の生活と福祉の向上に寄与する具体物、または、施設、備品等を贈る。

(2) ロータリークラブの目的や奉仕活動にそって、広く市民の理解を深める公共性のあるものとする。

3 記念品

(1) 第1案 広報掲示施設 自立両面看板 (広報パネル看板) 世界中からポリオやそのほかの感染症を撲滅する活動や、大規模な感染症予防のワクチン接種等の意義を深める広報、宣伝するもの等
規模 高 300 cm パネル幅 120～180 cm 横幅 480 cm 別紙参考

4 設置場所

広く市民に見てもらえるところに設置する。

5 経費

設置の費用 50万円前後を見積もり、国際ロータリーの補助金も申請する。
維持管理経費 当面10年間の見通しを立てて積算し、負担する。

6 その他

(1) 周年記念事業で、高萩市に寄贈した記念品
10周年記念 「4つのテスト」石碑 文化会館前庭：
20周年記念 「すこやか」ブロンズ彫像 市保健センター：
30周年記念 「ふれあい」ブロンズ彫像 総合福祉センター屋外用大型時計 十王町図書館：
40周年記念 「さくら宇宙公園」門標石碑 高萩市衛星通信記念公園

月 日	プログラム	担 当	月 日 出席報告		
			会員数	出席者	欠席者
4月8日	休会(新型コロナ感染予防拡大防止)	—	34		
4月15日	休会(新型コロナ感染予防拡大防止)	—			
4月22日	休会(新型コロナ感染予防拡大防止)	—	出席率 :		
5月6日	休会(祝日振替)	—	前々週訂正 :		

事務所：〒318-0033 高萩市本町2-65
常陽銀行高萩支店内 TEL/FAX：0293-24-0505

■URL <https://www.takahagirc.jp>

■E-Mail : takahagi-rotaryclub@h7.dion.ne.jp

会 長：小森 勇一
幹 事：今川 隆

例 会：毎週水曜日 12:30～13:30

公共イメージ委員：石平光 櫻井高志 石君平 鈴木直登
大河原浩 田所和雄 棚谷 稔 大高司郎

<中村澄夫ガバナー事務所より>

4月25・26、5月17日予定のロータリー賞の説明会中止のお知らせ。なお、説明会に申込みしたクラブには、クラブ奉仕委員会が個別対応とする。

<池田正純ガバナーエレクト事務所より>

5月10日予定の地区研修・協議会（DTA）中止のお知らせ。PETS 中止のため、関連諸経費を除いた残金を各クラブに返金の予定だったが、DTA 関連の資料等製作費に充当する旨の案内。5月に地区研修・協議会記録報告書を配布予定。

<ロータリーの友事務所より>

新型コロナウイルスに関する友事務所対応として、5月号休刊のお知らせ。4/6～4/10日まで在宅勤務。

<国際ロータリー日本事務局より>

新型コロナウイルス感染拡大防止に向け、4月1日より当面の間、在宅勤務とする。ウェブ会議、オンラインミーティング Zoom のご紹介。

～My ROTARY のロータリーボイス記事～
新型コロナウイルス流行の中でロータリーに参加しつづける方法

ロータリーは人と人とのつながりを礎としています。でも、新型コロナウイルスの影響で例会や行事ができない、親睦や奉仕の活動ができない、という方も多いでしょう。今回は、オンラインを通じてさまざまな方法でロータリーに参加し続ける方法をご紹介します。



～オンライン会議システム Zoom ～

東洋経済オンライン記事によると、新型コロナウイルス感染症対策中、在宅勤務やオンライン学習などで急速にユーザー数を爆発的に伸ばしています。昨年12月は1000万ユーザーが今年3月には2億人が「Zoom」のアプリを使い、オンライン会議を行うようになったそうです。



ロータリークラブが新型コロナウイルスとの闘いを支援

新型コロナウイルスの猛威により世界に不安と困難な状況が広がる中、ロータリー会員と参加者たちが画期的な方法で支援し、離れていても手を差し伸べる方法があることを示しています。

奉仕と行動を大切にするロータリー会員は、地域社会で率先してプロジェクトを立ち上げ、支援を必要とする人びとへの援助を行っています。しかし、多くの地域で生活が急変しており、保健専門家らは、人びとが互いの距離を空け、感染力の強いこのウイルスの拡大防止のために必要であれば自己隔離することを呼びかけています。



「疾病の予防と治療」はロータリーの主な活動分野の一つです。これまでも会員は、適切な手洗いや感染予防法について啓発活動を行い、医療従事者への研修や医療機器を提供してきました。現在は、各地の保健当局による新型コロナウイルス情報の周知を援助し、パンデミック（世界的大流行）によって多大な負担を強いられている医療施設や病院に防護用品を寄贈するといった活動を行っています。

当クラブの例会は、当面（5月6日迄）新型コロナウイルス感染症対策のため（高萩RC定款第8条第1節）休会とします。